

かいさいよてい
開催予定

※感染症の状況によって開催予定が変更する場合もあります。その場合は Facebook、ブログ、LINE でお知らせします。

○ **大袋プレーパーク**
〈越谷市プレーパーク事業〉
大袋原っぱ公園 13時～16時



12月							2021年 1月							2月							3月							
月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	
					4	5	6	4	5	6	7	8	9	10	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7
7	8	9	10	11	12	13	11	12	13	14	15	16	17	8	9	10	11	12	13	14	8	9	10	11	12	13	14	
14	15	16	17	18	19	20	18	19	20	21	22	23	24	15	16	17	18	19	20	21	15	16	17	18	19	20	21	
21	22	23	24	25	26	27	25	26	27	28	29	30	31	22	23	24	25	26	27	28	22	23	24	25	26	27	28	
28	29	30	31											29	30	31				29	30	31						

♡ **第3(火)は乳幼児親子の遊び場
ちびころ** 〈自主事業〉
大袋原っぱ公園 10時～12時 協力金:一世帯 300円
雨天中止:当日 facebook、LINE でお知らせ

☆ **東越谷プレーパーク** 〈越谷市放課後子ども教室〉
東越谷第七公園 13時～16時

遊びあふれるまちへ



越谷にプレーパーク

をつくる会 **通信**

58号
12月発行
2020



プレーパークってなんだ?



プレーパーク(冒険遊び場)
のはじまり 1943年にデンマークで誕生。イギリスで盛んになりヨーロッパ全体で1000カ所程度の冒険遊び場がある。そのうちの半数程度がドイツにある。日本では1979年世田谷の羽根木公園に最初に作られる。今では400カ所以上ものプレーパークが市民主体で運営。
◆日本冒険遊び場づくり協会 HP より

プレーパーク(冒険遊び場)は子どもの遊び場です。でもただの遊び場ではありません。子どもの気持ちを大事にしている遊び場です。「やってみたい」と思ったことに挑戦できる場所であり、反対に何もしなくてもいい自分のペースで過ごすことができる場所です。大人が大事にしていることは、あれこれ口出しはできるだけせずに、まずは見守ってみることを大事にしています。



私には忘れられない思い出があります。息子2歳の夏。遊びに来ていた子どもたちが原っぱ公園にある築山にブルーシートを敷き、水を流してウォータースライダーをやっていました。息子はやってみたいけれどちょっとこわくて自分の番になっても滑れずにいました。後ろから「ほら早く行けよ」の声。待ちきれず後ろの子が次々に滑っていきます。私は離れた場所で気になりながら見ていました。息子は他の子が滑る様子を間近で見ながら、エイッ!と自分のタイミングで滑りました。あの時の息子の嬉しくてたまらない、という顔が忘れられません。見守っておもしろいなあ、と思った瞬間でした。あれから七年。先日のプレーパークではやりたかった焚き火ができ、ずーっと火にあたっている満足そうな顔をした息子の姿がありました。

*「放っておけばいいのとは少し違って、ポイントはふたつあります。こどもがやることをいっしょにおもしろがること、親の世界に閉じこめずに、こどもの世界で自由に遊ばせることです。」
◆冒険遊び場初代プレイヤー 天野秀昭さん



プレーパークで見せる子どもたちの表情は豊かです。子どもの気持ちに寄り添うと『そうか、あなたはこうゆうことがしたかったのだね』とおだやかなやさしい気持ちまで生まれてくるのです。つくづく不思議でおもしろい!

公園で遊んでいてなにか窮屈さを感じている方はいませんか。ぜひ遊びにきて「プレーパーク」を感じてみてください。かならず誰かが「こんにちはー!」と笑顔で声をかけてくる遊び場でもあります。(かなもん)

地域の皆さん

ありがとうございます

- 荒井豊店さま 坂本さま 山崎さま
- カスミフードスクエア越谷大袋店さま
- 加藤工務店さま 樺(けやき)組さま
- タイヤガーデン越谷さま
- ドラッグストアセキ花田店さま
- 日本工業大学さま 丸孝木材(株)さま
- 榎山下工務店さま
- 木材・工具・竹・タープ・古タイヤ・ダンボール・お野菜などを提供いただいております。

会員になってプレーパークを応援しませんか

全国各地で400を超える団体が冒険遊び場づくりに取り組んでいます。越谷にプレーパークをつくる会は、有志の市民が中心となってボランティアで運営しています。会費は活動の大切な資金となっています。越谷市が「遊びあふれるまち」になるよう一緒に願ってくれる方を募集しています。

- 正会員 2000円/年 (活動趣旨に賛同し積極的に応援)
- 賛助会員 1000円/口 何口でも! (財政的にサポート)

会費・寄付金は郵便振替でもお受けしております。
00540-2-78897 NPO法人越谷にプレーパークをつくる会



『モットーは
自分の責任で自由に遊ぶ』

普通の公園が禁止事項ばかりなのは、何かあったときに「公園をつくった人が悪い」と管理者の責任を追及する傾向があるからです。子どもが公園で自由に遊ぶには、「事故は自分の責任」という考え方が基本です。

プレーパークって?

「〇〇してはいけません」という禁止事項のない遊び場。何をしてもいい、なにもしなくてもいい。穴掘り、木登り、泥んこ遊びや火を使った遊びなど、子どもたちが「やりたい!」と思ったことを自由にできるように、大人たちが知恵を出し合って運営しています。



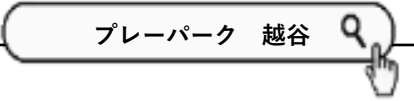
プレーリーダーって?

子どもととことん遊び、ありのままを受け入れ、遊び全体に目を配ります。遊びの種を蒔き、遊びを通して子どもたちの相談相手にもなってくれる、親でも先生でもない子どもと対等な大人です。遊びに伴う危険を予測して対応し、遊び場の整備なども行います。

Facebook 	ブログ 	LINE
--------------	---------	----------

NPO 法人越谷にプレーパークをつくる会

メール koshigaya.asobo@gmail.com



11月のこんな遊び

新聞紙とペットボトルで剣をつくる

最近の「鬼滅の刃」人気の影響か、プレーパークでも剣を作って遊びたいという子どもが増えています。「鬼滅の刃」は鬼になった妹を人間に戻すために鬼と戦う少年の物語で、人が切られたり流血したりする場面も多く、幼児や小学校低学年の子どもたちには内容も難しく、過激なアニメです。それでも今や流行の波は幼児たちにもやってきています。小さな子供たちにとっては物語の内容よりも主人公が妹を助けるために様々な訓練するところに共感が及ぶようで、戦いごっこが流行るのもそのためと言えます。

先日、ある幼児が幼稚園でもらったという剣のおもちゃをもってくと、他の子どもたちも欲しくて仕方なくなりました。持ち主の子に少しだけ貸してもらおうと交渉してもだめです。「ぼくもほしい!」という声。それなら剣をつくらうと誘ったのはプレーパークの運営者の一人です。お母さんだったら「危ないからダメ」というところかもしれませんが、プレーパークはできるだけ子どものやりたい気持ちには寄り添いたいという大人がいる場所。新聞紙を丸めて刀の刃をつくり、つばはペットボトルでつくりました。簡単だけどなんだか形になっていてかっこいい。



当然、みんなも欲しくなります。すると保護者からは「つくってもらっておいで」との声が聞こえます。プレーリーダーがすかさず「お母さんたちも一緒に作ろう」と誘いました。そうそう、大人も子どももみんなでワイワイ一緒に遊べるのもこの場所の楽しいところ。子どもたちは自作の剣で戦いごっこに夢中になりました。



そのうち新聞紙にテープを巻くと固い剣になることにも気づきます。キラキラシールを貼ったりするとかわいい剣になることにも気づきます。子どもの創造力が芽生えるのです。

「危ないからダメ」って言わなかったから生まれたもの。子どもの頃のこんな些細な積み重ねが人としての豊かさにつながると私たちは信じています。
(澗野)

プレーリーダーはっちのコラム はっちがのぞいたこどもの世界2

すっかり秋になった11月の大袋プレーパーク。どんぐりがたくさんあったので、雨どいや紙筒をつないで、コースをつくってみた。

それを見た3才くらいの子が、どんぐりをコースに入れた。転がっていくどんぐりを見て、真剣な顔でずっと入れ続ける。しばらくして、大量のどんぐりを一気にどばーっと入れる。満足げな顔。何度も何度も繰り返した。

小学生の子とは一緒にコースをつくった。段ボールを積み重ねて高さを出し、雨どいと紙筒を長くつなげた。試しに転がしてみると、最後のところで転がらない。「掘ろう」という



その子の声で、土と一緒に掘った。地面が低くなってコースが斜めになると、最後まで転がってその穴にどんぐりがコロんとおさまった。高さを上げるのではなく、地面を下げるという発想、すごいなあ。

どんぐりをひたすら集める子。割れているどんぐりの中身を見始める子。転がるのを追いかける子。コースをつくり変える子も、壊すことが楽しくなる子もいる。

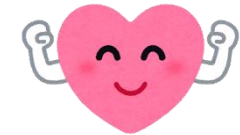
同じものでも、その子にとっての「やりたい」はいろいろだ。プレーパークにあるものに、「遊び方」は決まっていない。だからこそ、子どもたちが自ら遊びをつくり出す。その姿がおもしろい! はっち (早川七海)

東越谷プレーパーク

10月は雨の開催。天候悪い中きてくれたSちゃん「今の唯一の楽しみがプレーパーク」と話していた。11月も早い時間から来て「今日は楽しみだった。1ヶ月たつのは早かった〜」とにこにこ。自分で楽しみを見つけられるって素敵。

「やっと来られた〜」と話しかけてきてくれたN君。今年は初めて。「忙しかった〜」何が忙しかった?と尋ねると「図書委員会」。「コロナでみんな本を借りに来てくれなくなったから、借りに来た人に折り紙で作った箱とかをあげるのを作っていた」との事。N君頑張り屋さんかな。しばらくすると紙コップを持って何か探している様子。「何探しているの?」と聞いたら「夢と希望」と返事。

おしゃべり 〜夢と希望〜



それを聞いていたリーダーが「土を掘ってみるか?」「何で?」「種が芽を出して実っていくから土に夢と希望があるんだよ。」N君は顔が「?」。「Nくんは何処にあると思う?」と聞き返すと「空とか上の方」。N君はそう思っているのね。更に近くで聞いていたボランティアのお兄さんが「夢と希望はここにあるんだ!」と自分の胸を叩き、またあちこち指さして、「ここにも、あそこにも、どこにでも!」。N君は困った顔をしながらそこから離れて行きました。

学校ではない、家庭ではない、会話や交流がある場所。そう思えるから「また」来たくないのでしょか?
(川)

大袋プレーパーク 越谷市プレーパーク事業
(西大袋第1号近隣公園内 大袋幼稚園そば)

13:00~16:00 @大袋原っぱ公園 (大竹 617-1) 小雨決行/荒天中止

ちびころ 小さな子も外遊びを楽しんでほしいと願って作った未就学児の親子の遊び場です。
10:00~12:00 @大袋原っぱ公園 (大竹 617-1) ※雨天中止 (当日 Facebook でお知らせ)

※開催予定は裏面でご確認ください。

東越谷プレーパーク 越谷市放課後子ども教室 (070-2649-0832)
毎月第3土曜日 (13:00~16:00・小雨決行/荒天中止) @東越谷第7公園 (花田 1-4)

※開催予定は裏面でご確認ください。